

【検討単語】2019年度 第2回本委員会 【結果の記入方法】創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

単語	意味付け	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1 配水	上水道などの水を給水区域内に配給すること。(例:「配水池」「配水管」など)	北海道	○	丸めた左手+<水>+<配る>	● 組み合わせ	<水>+<配る>の表現が多い 配水、給水の違いを確認 ターミナルの表現を使う? ⇒<水A>+<ひろがる>
		東北	●	「水」+両手で前方左右に出す		
		関東	ア	「水」+体から少し離れた前の方で右手だけで「配る」		
		北信越	●	管+水が流れる		
		東海	●	水(川)+両手で「分ける」		
		近畿	●	水+配る		
		中国	●	水+送る		
		四国	●	水 / あげる		
		九州	ア	「配る」「水」		
2 給水	水、特に飲料水を供給すること。(例:「給水制限」「給水車」など)	北海道	○	<水(飲む)>+<配る>	ア● アレンジとの 組み合わせ	水をあげる、提供というイメージ →右手のみの動作がいい。 ⇒<水A>+<右手<配る>(2回)
		東北	○	左方から両手を中央に移動+「水」+右掌を前方に出す		
		関東	●	「水」+体の近くから「渡す」(掌を上に向けた両手を前に出す)		
		北信越	●	水道蛇口を開ける仕草+水が流れる		
		東海	●	水(飲水)+配る		
		近畿	ア	水+与える(両手で)		
		中国	●	水+配る		
		四国	●	水が流れる様子		
		九州	ア	「水道」「配る」		
4 歌会始の儀 (うたかいはじめのぎ)	毎年1月、天皇・皇后の御前で、一般から詠進して選に預かった歌、選者の歌、召人(めしうど)の歌、皇族のお歌、皇后の御歌(みうた)、最後に御製(ぎよせい)を披講(ひこう)する儀式	北海道	●	<天皇>+<歌>+<儀式>	● 組み合わせ	<短歌>の手話表現はある。<会>を入れると長くなるので省く。 ⇒<短歌>+<始めるB・開始>+<儀式> ※<儀式>は北海道、中国、四国班の案を採用
		東北	○	左手親指小指を立て上にあげ、右手人差指で書く仕草		
		関東	ア	「両陛下」を少し下に+「歌」+「始める」+「式」		
		北信越	◎	新年+左手は天皇皇后+右手は2本指で短歌		
		東海	●	左手で「歌」右手で「始め」+「式」		
		近畿	●	正月+和歌+式		
		中国	●	和歌+儀式		
		四国	●	和歌(Ⅱ-143)/会/始まる/儀式(Ⅱ-19)		
		九州	●	「正月」「短歌」「歌」		
5 園遊会 (えんゆうかい)	毎年、春・秋の2回、天皇・皇后が、三権の長等の要人・都道府県の知事等・各界功績者とその配偶者を招いて赤坂御苑で催される饗応の行事	北海道	●	<庭>+<交流>+<会>	● 組み合わせ <天皇皇后両陛下> 保存手話	天皇皇后だけでなく、他の皇族も参加されるが「天皇皇后両陛下」だけの表現でいいたろう。(高田所長 → 全日本ろうあ連盟理事長として招待されたことがある) 招待者と会話をしながら順に触れ合う会なので ⇒<天皇皇后両陛下>+<交流>+<会> ※四国班の案を参考 <天皇皇后両陛下>の表現を確認。 ⇒左手甲に右手2指をのせ、右手を上げる
		東北	○	左手親指小指を立て上にあげ、右掌で囲む		
		関東	ア	両手の親指と人差指を指先を話して向い合せ円を作る。+「両陛下」を左から右に移動。+「会」		
		北信越	●	右手5本指+右手の天皇皇后が回る様子		
		東海	●	右手で「天皇」を開いた左手の前にずらし、左手で「礼」をする+「会」		
		近畿	ア	両手で園遊会の雰囲気を出す		
		中国	●	天皇+周り+話し(テレビでよくみる光景を真似て表現)		
		四国	●	天皇(Ⅱ-22)/交流/会		
		九州	◎	参加者の前を両陛下が歩かれる様子		
6 宮中午餐 (きゅうちゅうごさん)	内外の賓客を招いて宮中において催される昼食会	北海道	●	<天皇>+<大勢>+<昼食>	● 組み合わせ	9班の案の中に、パーティー、宴会、椅子が並ぶ様子などがあるが、合う表現は? →両陛下を囲んでの昼食会なので、<天皇皇后両陛下>+<囲む>ではどうか。 ⇒<天皇皇后両陛下>+残した右手の前方少し下で右手を囲むように指先上向きの左手を動かし+<昼食> ※九州班の案を採用
		東北	○	左手親指小指を立て上にあげ、昼食		
		関東	●	「宮」+「昼」+「食べる」+「会」		
		北信越	●	右手は天皇皇后+左手で昼、パーティ		
		東海	●	「皇居」+「昼食」		
		近畿	ア	天皇+昼+椅子が並ぶ様子		
		中国	●	天皇+周り+食べる(テレビでよくみる光景を真似て表現)		
		四国	●	皇居(Ⅱ-22)/昼食		
		九州	●	「両陛下」「人々」「昼」「食事」		
7 宮中晩餐 (きゅうちゅうばんさん)	皇室における国賓の接遇の一つで、宮中において催される夕食会	北海道	●	<天皇>+<大勢>+<夕食>	● 組み合わせ	日常的に「晩ご飯(夜+食べる)」の表現はよく使う。標準手話は「夕食(夕方+食べる)」どちらの表現がいいか。晩餐は夜の7時から一晩ご飯 ⇒<天皇皇后両陛下>+残した右手の前方少し下で右手を囲むように指先上向きの左手を動かし+<夜>+<食べる> ※九州班の案を採用
		東北	○	左手親指小指を立て上にあげ、晩餐		
		関東	●	「宮」+「夕方」+「食べる」+「会」		
		北信越	●	「皇居」+「夜」+「ステーキ」 ※ 宮中晩餐会はフランス料理		
		東海	●	右手は天皇皇后+左手で夜、パーティ		
		近畿	ア	天皇+夜+椅子が並ぶ様子		
		中国	●	天皇+周り+夜+食べる(テレビでよくみる光景を真似て表現)		
		四国	●	皇居(Ⅱ-22)/夕食		
		九州	●	「両陛下」「人々」「夜」「食事」		
8 新年一般参賀 (しんねんいっばんさんが)	新年に当たり、天皇・皇后が、皇族とご一緒に、国民から祝賀をお受けになる行事	北海道	●	<新年>+<天皇>+<大勢>+<祝う>	● 組み合わせ	実際には1月2日に開催されるので、元旦の表現でいいのか →<正月>の表現でいいたろう →9班の案では「手を振る」動作がいくつかある。両陛下・国民のどちらの目線にするか? →国民目線の表現がよい。前方上方の両陛下に向かい、国民が順に進んでいくような表現。 ⇒<正月>+前方で<天皇皇后両陛下>+掌を前に指先を上に向けた両手を胸前から前に出す ※東北班、関東班、中国班、四国班、九州班の案を参考
		東北	○	(掌を相手に向け) 段を落として右掌を寄せる		
		関東	●	「新年」+「両陛下」+指先上で両手を広げて並べ、同時に前に出す。+「お祝い」		
		北信越	●	新年+左手は天皇皇后+右手を振る		
		東海	○	「新年」+「皇族」+手を振る		
		近畿	ア	お正月+天皇+見送る様子		
		中国	●	正月+上と下+並べ(テレビでよくみる光景を真似て表現)		
		四国	●	新年/天皇 / + 片手を近づける		
		九州	ア	「正月」「両陛下」「参加者」「手を振る」		

単語	意味付け	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
9 大嘗祭 (だいじょうさい)	天皇のご即位の後、大嘗宮の悠紀殿・主基殿において初めて新穀を皇祖・天神地祇に供えられ、自らも召し上がり、国家・国民のためにその安寧と五穀豊穡などを感謝し祈念される儀式（一連の儀式を総称して用いられることもある）	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	● ● ● ● ● ◎  ● ●	<大>+<歴史>+<祭り> 「米」+「豊か」+神式で御幣を払う仕草 「大」+小指側を下に軽く丸めた左手の上で、右手で「山」+「お祝い」 天皇即位+稲刈り+お供え 「大」+「感謝」+「まつり」 ◎ 天皇が笏をお持ちになれる様子  ● 天皇（Ⅱ-22）/受け継ぐ/儀式 ● 「天皇」「拝む」	<稲日> 保存手話 ● 組み合わせ	まずは「稲」の表現を確認。標準手話の「稲」は「米」+「稲穂がたれるさま」。 <稲日> ⇒左手人差指の先を右手手首辺りに添え、右手を稲穂が垂れるように弧を描いて下ろす <大嘗祭>は組み合わせで。 ⇒<即位>+<稲日>+<贈る>を丁寧に ※北信越班の案が近い
10 天皇誕生日一般参賀 (てんのうたんじょうび いっぱんさんが)	天皇誕生日に際し、天皇が、皇族と一緒に、国民から祝賀をお受けになる行事	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	○ ○ ● ● ● ● ● ● ●	<大勢>+<天皇>+<誕生日>+<祝う> ○ 親指を立てた左手を上にし、段を落とし右掌を寄せる ● 「天皇」+「誕生日」+指先上で両手を広げて並べ、同時に前に出す。+「お祝い」 ● 誕生日+左手天皇皇后+右手を振る ● 「天皇」+「誕生日」+「皇族」+手を振る ● 誕生日+天皇+見送る様子 ● 天皇+誕生日+上と下並べ(テレビでよくみる光景を真似て表現) ● 天皇/誕生日/天皇+ 片手を近づける ● 「天皇」「誕生」「参加者」「手を振る」	● 組み合わせ	⇒<天皇>+<誕生日A>+掌を前に指先を上に向けた両手を胸前から前に出す (<誕生日>の「日」は「A・B」のどちらでもよい) ※関東班の案<お祝い>を除く表現を採用
11 内親王 (ないしんのう)	皇族女子の身位または称号の一つ。現行の皇室典範では天皇からみて直系で二親等以内の者に与えられる。(現在：愛子様、眞子様、佳子様)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	○ ○ ア ● ● ● ● ● ア	<天皇(左手)>+<孫>+<女> ○ 左手親指小指を立て、そこから「娘」 ア 甲を手前にして指文字「ヤ」。その掌側から小指を斜め前上方に出す。 ● 天皇皇后+娘の手話を横に動かす ● 左手で「天皇」+左手のやや下の位置で、右手で「女」 ● 天皇の娘 ● 皇族+女子 ● 天皇/二親等(Ⅱ-219)/女 ア 「両陛下」「娘」「孫娘」	ア● アレンジとの組み合わせ  <親王> アレンジとの組み合わせ	9班の案を見ると、<天皇皇后陛下>+<娘>の表現が多い。二親等の表現が必要では？ ⇒<天皇皇后両陛下>+残した右手の横で左手<娘>そのまた<娘>と下ろしていく あわせて<親王>の検討。 ⇒<天皇皇后両陛下>+残した右手の横で左手<息子>そのまた<息子>と下ろしていく
12 侍従 (じじゅう)	広義では(しばしば高貴な立場の)ある人物に付き従い、身の回りの世話などをする行為、または従う者そのものを指す。日本においては、特に天皇に側近奉仕する文官や位を意味する	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	○ ○ ◎ ● ● ● ● ア ◎	<天皇>+右手人差し指を前に出す+<世話> ○ 左手親指小指を立て+ 「丁稚」 ◎ 左手指文字「ヤ」の親指の横に「男」を添え、同時に前へ。左手そのまま右手親指を上に移動。 ● 左手は天皇皇后+右手はお世話 ● 左手で「天皇」+右手で囲む ● 天皇+家来 ● 天皇+従う ア 天皇/頭を下げて片手指先をおなかにあてる ◎ 「両陛下」に付き従う様子	◎ 創作手話  <女官> 創作手話	「侍従」は男性の名称 <弟子B・ペーペーB>は見た目がよくないのでは？ ⇒<天皇皇后両陛下>+その小指側に<男>を少し下に添えて同時に前へ出す ※関東班、九州班の案を応用 あわせて、<女官>も検討。 ⇒<天皇皇后両陛下>+その小指側に<女>を少し下に添えて同時に前へ出す
13 君子の交わり淡きこと水のごとし	教養があり、物事をよくわきまえた人同士の付き合いは、水のように淡々としているが、長く変わることはないということ。 (例:「何年も合わなくても友情は変わらない。君子の交わり淡きこと水のごとしだ」など)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	○ ● ● ● × ●  ● ● ●	<同じ>+<変わる>+<ない> ● 「利口」+「互い」+「会う」々+「わかる」 ● 「友達」+右手親指と人差し指を軽く曲げ、左斜め下へ力強く振って止める(固い) ● 仲よし+固い × ● 友情+続く  ● 考え/立派/人/気持ち/つかむ/続く ● 「交際」「マナー」「続く」	● 組み合わせ  <付き合いB> 保存手話	お互いに信じあうという意味合いでは、竹馬の友の意味が合う ⇒<付き合いB>+<合う・～的>を2回 あわせて<付き合いB>を検討。 ⇒前後に<会う>+続けて前後を入れ替えて<会う>
14 虎穴にらずんば虎児を得ず	危険や冒険を冒さなければ大きな成功や利益は得られないということのたとえ。 (例:「虎穴に入らずんば虎児を得ず」の精神で紛争地域に取材に行くジャーナリストは貴重な存在になりつつある。)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	◎ ● ● 保 × ●  ● ●	<冒険>+手前に引く(戻る)+<冒険> ● 「目標」+「取る」+「簡単」+「出来ない」 ● 「混乱」+両手で小さな「穴」を前後に動かし、左手を残して右手人差し指を「穴」を避けるように前に出す。+「ない」+「取る」+「難しい」 保 ケツをまくる(思い切る) × ● 思いっきり+飛び降りる様子  ● 虎/子ども/とる/ため/そこ/行く/覚悟/必要 ● 「危険」「行く」「利益を得る」	△ ラベル追加	9班の案の中に、冒険、居直る、思いきるなどがある。「思い切る」が合うのでは？ →<思う>+<決意>は？ ⇒<思い切ってC・思いきる・破天荒>と同じ ※近畿班の案を参考

【検討単語】2019年度 第2回本委員会 【結果の記入方法】創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

単語	意味付け	各班 結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
15 液晶	液体と固体の両方の性質を持つ物質。電圧をかけると分子の向きが変化し、液晶を透過する光の波長が変化する。液晶ディスプレイでは、この性質を利用して画像や文字などを表示する。	北海道 ○	左手「テレビ」+右手「指文字(エ)」右方へ2回引く	○ 合成 ＜プラズマ＞ 合成 ＜有機EL＞ 合成	「液晶ディスプレイ(H15年度確定)」の「液晶」の表現はあるが、現状に合わない →左手の「L」は画面を表すことで統一したらどうか ⇒画面を表す左手<L>の横で、右手<エ>を右へ動かす あわせて、「プラズマ」「有機EL」も検討。 ＜プラズマ＞ ⇒画面を表す左手<L>の横で、右手<プ> ＜有機EL＞ ⇒画面を表す左手<L>の横で、右手<ユ>を垂直に回す
		東北 ●	「ユーチューブ」参考に、左手「エ」右手「映像」		
		関東 ア	手の形「テレビ」で、指先を細かく上下に動かす		
		北信越 ●	指文字「え」+つける		
		東海 ◎	左手をL、開いた右手を右へ小刻みに揺らし、止める(液体から固体)		
		近畿 ◎	モニターTVの両端を表現		
		中国 ×			
		四国 ◎	左手「レ」 + 右手開き左右に揺れながら下ろす		
		九州 ●	「薄い」+「画面」		
16 水銀	元素記号 Hg、原子番号 80、原子量 200.59。周期表 12族、亜鉛族元素の1つ。水銀は、常温、常圧で凝固しない唯一の金属元素。気圧計、水銀ランプ、電気スイッチ、鏡、水銀ポンプ、水銀塩の製造、触媒、鉛石からの金、銀の抽出、整流器、アマルガム、電極など、非常に広い用途がある。生物に対して有毒性が高く、特に化合物のメチル水銀は水俣病の原因となった。	北海道 ○	立てた左手掌に右手2指の輪をつけて上げる「温度計」	ア アレンジ	水銀も他の元素と同じように、元素を表す左手掌に、右手をどう表現するか？ →白金(プラチナ)などの表現を確認。 →水銀の玉の動きをどう表すか検討。 ⇒元素を表す左手掌に、水平にした右手2指の輪をあてて右手を振りながら右へ動かす ※東海班、近畿班の案を参考
		東北 ○	元素記号「H」+「G」		
		関東 ○	「銀」+すぼめた右手5指の指先を左掌にのせて揺らす(水銀が丸まっている様子)		
		北信越 ○	両手に○を合わせてひとつの○になる		
		東海 ○	左手を縦に、右手で金を表し、上下に揺らしながら右に動かす(水と銀を表現)		
		近畿 ア	金属の手話をアレンジ+銀		
		中国 ●	水+銀		
		四国 ●	水+銀		
		九州 ●	「水」+「銀」		
17 拠点(きょてん)	いろいろな活動の足場となる重要な地点。「販売の拠点を築く」「軍事拠点」	北海道 ○	腕を立てた左ひじに右手2指の指先を下に立つ	● 組み合わせ	9班の案を見ると「元・基づく」の左腕を立てる表現が多いが、少し意味が異なる。 ⇒<みんな>+「ここ」と真ん中あたりを人差し指の先で指す ※北信越班の案を参考
		東北 ア	「基本」の右手を少し回し、人差し指で下方を指す		
		関東 ●	「元・基づく」+人差し指で前を指す		
		北信越 ○	場所を回しながら指さしに点をつける		
		東海 ア	元を流用し、右手を「場所」		
		近畿 ア	柱の下の土台をイメージ		
		中国 ●	基礎の手話+指文字「き」		
		四国 ●	ポイント + 場所		
		九州 ●	「重要」+「場所」		
18 世相(せそう)	世の中のありさま。社会のようす。「現代の世相を反映する事件」	北海道 ○	左手「指文字(セ)」+右手「社会」	● 組み合わせ	ほとんどの班が<社会>+<様子>、即決 ⇒<社会>+<状態・風潮・事態・局面> ※関東班、東海班、近畿班、中国班、四国班、九州班
		東北 ◎	「人々」を前方から顔の横に向けて移動		
		関東 ●	「社会」+「様子」		
		北信越 ●	世界+様子		
		東海 ●	社会+様子		
		近畿 ●	社会+様子		
		中国 ●	社会+様子		
		四国 △	社会 状態		
		九州 ●	「社会」+「様子」		
19 みなし仮設	民間賃貸住宅を行政が借り上げ、被災者に提供する仮住まい。借り上げ型仮設住宅ともいう。建設型と同じく入居期限は原則2年だが、自宅再建が間に合わないなどの事情があれば1年の延長も認められている。	北海道 ●	「捨てる」+「仮」+「建てる」	＜みなし＞ ラベル追加 ＜仮設＞ 組み合わせ ● 組み合わせ	みなし、いろいろな使い方があり。まずは、「みなし」「仮設」それぞれ単独で使えるよう検討。 ＜みなし＞ ⇒<形骸>と同じ ＜仮設＞ ⇒<例えば・仮>+<建つ・建設(する)> ＜みなし仮設＞ ⇒<形骸・みなし>+<建つ・建設(する)>
		東北 ○	「仕方ない」+「家」		
		関東 ●	左から「借りる」。そのまま前へ「貸す」+「例・仮」+「家」		
		北信越 ●	表す+仮+家		
		東海 ●	顔を横に向いたまま「認める」、仮+家		
		近畿 ●	仮+施設+なみ		
		中国 ●	仮+家		
		四国 ●	仮設 + 同じ(五分五分の表現)		
		九州 ●	「仮」+「家」		
20 短絡的	物事の本質や筋道を深く考えずに、原因と結果などを性急に結びつけてしまうさま。「短絡的な考え方を戒める」	北海道 ○	「短い」+「的」	保 保存手話	9班の案を見ると「簡単」「短くまとめる」のような表現が多いが、1動作で以前から使われている表現は無いのか？ ⇒上に向けた左手掌の中指に沿って右手2指を素早く前に出しながらかつむむ ※熊本あたりの保存手話
		東北 ○	「簡単」+「短い」		
		関東 ●	「簡単」+「決める(左掌に右手2指を叩きつける)」		
		北信越 ●	簡単+まとめる		
		東海 ●	同時+つなぐ+的		
		近畿 △	簡単		
		中国 ●	短い+処理		
		四国 ◎	簡単の手話の人差し指をこめかみに当てて、左掌に当てる		
		九州 保	九州地方で「短絡的」の意味で使われている。		
21 あさましい	1 品性が卑しい。さもしい。下劣だ。「あさましい見」「あさましい根性」 2 見苦しく情けない。嘆かわしい。「あさましい世の中」 3 身分や姿形が卑しい。みすぼらしい。「あさましい姿」 4 予想と違った結果に驚きあきれられる気持ちをいう。 1) 意外だ。あきれられる。驚くべきさまだ。「取りがたき物をかくあさましくもて来る事をねたく思ひ」(竹取) 2) 興ざめである。がっかりして、あきれかえる。「物うちこぼした心地いとあさまし」(枕・九七) 3) あまりにもひどい。程度がはなはだしい。「あさましく貧しき山国にて」(読・春雨・海賊)	北海道 ①ア ②●	①右手親指で鼻にあて、左方へ動かす。②「本当」+「残念」	保 保存手話	複数の意味に共通して使える表現はないか？ →両手で「握る」を表し「あきる」の意味で使う表現がある。それを片手で表してはどうか。 ⇒<発掘>の右手(手首を使って2回握る) ※近畿班の案を参考
		東北 △	「ダサイ」と同様		
		関東 保	軽く曲げた右人差し指で額を2回たたく		
		北信越 保	①くだらない(石川、新潟など) ②喉が渇く(富山)		
		東海 保	握った右手の親指の方向を胸に二回当てる(見苦しい)		
		近畿 保	みっともない		
		中国 △	ひどい		
		四国 △	下品		
		九州 保	九州地方で「つまらない」「あさましい」の意味で使われている		
22 とんでもない	1 全く思いがけない。常識では考えられない。意外だ。とほうもない。「海上都市とはとんでもない計画だ」「とんでもない時間に訪問して恐縮です」 2 (非難する気持ちをこめて)たいへんなことだ。けしからん。「全くとんでもないことをしてかしてくれだ」「とんでもないぬれぎぬだ」 3 相手の言うことを強く否定する語。「『景気がよさそうだな』『とんでもない、赤字で困っている』」 〔「とんでもない」の丁寧な言い方としては、「とんでもないでございます」「とんでもないでございます」があり、「とんでもございません」は誤った言い方とされるが、現在はかなり広がっている〕	北海道 ●	右手人差し指でこめかみにあてて、右手2指で頬を突きあてる	とんでもないA ラベル追加 とんでもないB 保存手話 とんでもないC 保存手話 とんでもないD ラベル追加 とんでもないE 保存手話 とんでもないF アレンジ	まさか、とんでもない、いえいえ、変、等々使われる場面によって様々な表現がある。それぞれの表現ごとに検討。 ＜とんでもないA＞ ⇒<まさかB>と同じ ＜とんでもないB＞ ⇒右手掌を前に向けて「エッ!?!」という表情で少し前に出す(「ある」の表現) ＜とんでもないC＞ ⇒立てた両手を上下に少しずらして左右に小さく強く握る ＜とんでもないD＞ ⇒<変・異次元>と同じ ＜とんでもないE＞ ⇒胸にあてた右手を吐き出すようにげんげな表情で前に出す ＜とんでもないF＞ ⇒<非常識・理不尽・言語道断>の1動作目を1回
		東北 ●	頭を下げ、右手で「いえいえ」		
		関東 保	開いた右手の指先を前に向けて小さく2回上下した後、大きく振り下ろす		
		北信越 ●	指文字「と」+いえいえ		
		東海 保	オーバーに同じ		
		近畿 ア	A いええ B まさか C 飛ぶ+いええ		
		中国 △	いええ		
		四国 △ ②保	①非常識 ②右手手のひらを斜め上にあげる ③違う ④いええ		
		九州 保	九州地方で「とんでもない」「想像外」の意味で使われている		
23 不気味	何となく不安で恐ろしいさま。気味の悪いさま。「不気味な笑い」「不気味に静まりかえる」	北海道 ア	目の前で両手「指文字(キ)」を向き合わせ、円を交互に描く	保 保存手話	鳥肌が立つイメージ ⇒左手首あたりからつまんだ右手5指をバラバラと開きながら左腕に沿って上げていく ※近畿班B、中国班、四国班の案を採用 (＜鳥肌(わ8-23)>→＜鳥肌が立つ>にラベルを変更する)
		東北 ア	「そくわない」と同様にし、体を横にそらす		
		関東 保	開いた右手を胸に当てて押す。不気味になっている表情		
		北信越 保	気持ち悪い		
		東海 保	気持ち悪いに同じ		
		近畿 ア	A 気持ち悪い B 鳥肌が立つ		
		中国 △	身の毛がよだつ手話と同じ		
		四国 保	鳥肌が立つ様子		
		九州 保	九州地方で「不気味」の意味で使われている。		
24 パティシエ	フランス語「pâtissier」の音写で菓子職人を指す語。	北海道 ●	左手「フランス」+「菓子」+「人」	● 組み合わせ	四国班の案のように＜甘い・スイーツ＞があるので＜コック＞と組み合わせてもいいが、少し分かりづらい。パティシエはコック帽をかぶっているイメージがあるので、それに「ケーキ」「お菓子」「生地を混ぜる動作」のどれが合うか？ →＜ケーキ＞が分かりやすい ⇒＜ケーキ>+＜コック> ※関東班の案を採用
		東北 ◎	ボールを抱え、右手で混ぜる仕草+「男」		
		関東 ●	「ケーキ」+「コック」(パティシエの帽子を表現)		
		北信越 ◎	お菓子+頭の上にコック帽子の形		
		東海 ●	ケーキ+男(女)		
		近畿 ◎	ケーキのクリームを作る様子		
		中国 ●	菓子作る人		
		四国 ●	スイーツ + コック		
		九州 ●	「お菓子」+「帽子」		



【検討単語】2019年度 第2回本委員会 【結果の記入方法】創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…△ 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

単語	意味付け	各班 結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
35 節目 (ふしめ)	1 木材・竹などの節のあるところ。「節目の多い材木」 2 物事の区切り目。「人生の節目」	北海道 ● 立てた左手に右手4指の指先を直角にあてて、上へ上がる	◎ 3パターン：①2指で輪を作り、輪が重なるように少し離して置き、2回引き離す(竹の節を表現) ②「木」を表現してから右手2指の輪を手前から2回置く ③両手を向い合せて置き、右手を2回右に離す	◎ 創作手話	「節目」は2つの意味があるので、どちらでも使える表現を検討。 ⇒ <b>掌を右に向けた左手を立て「コ」形の右手指先で左手掌に沿って高きを変えて(2回目は上で)2回前に出す</b> ※北海道班の案を参考
		東北 ● 指先を縦前に向けた左掌の上に右手を同形で乗せる			
		関東 ◎			
		北信越 ◎ ずっと+縦			
		東海 ● 「間」のあと、左手を左に動かす			
		近畿 ◎ 壁を切るように、2回繰り返す			
		中国 ○ 真ん中			
		四国 ◎ 両掌を上下に重ね合わせる			
		九州 △ 「～の時」			
36 連動 (れんどう)	一部分を動かすと、それとひと続きの装置が、いっしょに作動すること。「門灯はポーチライトと連動している」「税額は収入に連動する」	北海道 ● 「動く」+「連続」	◎ 連+ともに行く	△ ラベル追加	9班の案を見ると色んな表現が見られるが、今ある単語を使えないか？ ⇒<連続>と同じ(前に出す)
		東北 ◎ 両人差し指を同時に向かい合わせる			
		関東 保留			
		北信越 ◎			
		東海 ● 右手で「事件」の後、左手で「事件」			
		近畿 ア つながり			
		中国 ○ 連続			
		四国 ◎ 左手を前に出し それに右手をあて、それに合わせて左手を左に移動させる(振り子のイメージ)			
		九州 △ 「関係する」			
37 手の内	1 てのひら。たなごころ。「手の内に汗を握る」 2 勢力の及ぶ範囲内。支配下。「天下を手の内に収める」 3 腕前。手並み。「手の内を拝見する」 4 心の中で考え、計画していること。「相手の手の内を読む」 5 こじき・托鉢僧(たくはつそう)などに与える金銭や米。「慈悲の手の内鉢にあまりて」(浮・新永代蔵・六)	北海道 ● 左手「手」+右手「裏」	◎ 重ねた両手の右手だけを返して手のひらを見せる	△ ラベル追加	意味に合う表現が複数ある。今ある単語を使えないか？ ⇒<内輪>と同じ(左手で困った内側で右手人差指の指先を下に向けて円を描く)
		東北 ○ 「手」+「内」			
		関東 保留			
		北信越 ア 両手に「手」の手話を内をアレンジしたもの			
		東海 × 「上へ上がる」「給料が上がる」といった「上がる」の使い分けのように、幅広いため検討不可。			
		近畿 ア 手の裏			
		中国 △ 内の手話と同じ			
		四国 ◎			
		九州 保 九州地方で「手の内を見ぬく」の意味			
38 老朽化	古くなり、役に立たなくなること。「老朽化したインフラ」	北海道 ア 曲げた右手人差指を鼻に当てて下へ下ろす+前へ出す+「変化」	◎ 古い + 壊れる(壊れそうな様子)	△ ラベル追加	ほとんどの班が<古い>を使っている。→<～化>の表現を使うかどうか。 ⇒<古い>と同じ ※東北班、近畿班の案を採用
		東北 △ 「古い」と同じ(やや顔の表情がプラス)			
		関東 ● 右手で「古い」を表してから、少し膨らませた手を左下へ動かす			
		北信越 ● 古い+化(変わる)			
		東海 ● 古い+役に立たない			
		近畿 ア 古くの手話を下に長く伸ばす			
		中国 ×			
		四国 ●			
		九州 ● 「古い」+「傾く」			
39 格言 (かくげん)	人生の真実や機微を述べ、万人への戒め・教訓となるような簡潔にした言葉。金言。	北海道 ● 両手2指で「▽」の形+「言う」	◎ 左掌の上に右手「ケ」を乗せ、前に出す(連盟使用?)	保留	
		東北 ◎			
		関東 「助けられる」+指先を前に向け開いた右手2指を体の前に置く			
		北信越 ● 表す+言う			
		東海 △ 「言葉」を前方から手前に動かす			
		近畿 ○ 言葉をもらって+話す			
		中国 ● 立派+言葉			
		四国 ● 立派 + ことば			
		九州 ア 「ことわざ」の手話の指文字「こ」を指文字「か」に変える			
40 規範・モデル (きはん)	一定の社会集団内で、その成員が持っている価値判断の共通の評価基準ないし理想型。規範によって価値の普遍妥当性が保証される。「社会生活の規範」また、哲学で判断・評価・行為などの基準となるべき原則をいう。	北海道 ● 「規制」+「モデル」	◎ 両手に縦+モデル	△ ラベル追加	9班の案を見ると、組み合わせの表現が多い。今ある1動作の単語を使えないか？ ⇒<規範>と同じ ※九州班の案を採用
		東北 ● 「規約」と「模範」を参考に写しとる			
		関東 ● 「規則」+「マナー」			
		北信越 ◎			
		東海 ア 「模範」を流用し、左手を前に示し、右手で「規則」			
		近畿 ● マナー+もはん			
		中国 ● き + モデル			
		四国 ◎ 指文字「ロ」(規則を表現)を両手で 左右前後に移動させる			
		九州 △ 「モデル」			
41 からくり人形	自動的に動作する人形のこと。日本最古のからくり人形に関する記述は平安時代の『今昔物語集』に所収の、高陽親王(かやのみこ)の作った灌漑を促す機械人形の話にさかのぼる。欧米では、オートマタ(automata)と呼ばれる時計仕掛けの人形が存在し、紀元前のヘレニズム時代以前にまでさかのぼる。オートマタをベースに1801年フランスのジャコール(Joseph Marie Jacquard)が開発したパンチカードシステムは、その後の自動制御技術やコンピュータープログラミングに大きな影響を与えた。岐阜県・高山祭のクライマックスを彩るからくり人形の作者としても名を連ねる「からくり権右衛門」こと田中久重(1799～1881)はその後、現在の東芝の前身となる製作所を設立しており、日本の機械技術がからくり人形に発することが見て取れる。	北海道 ● 「調整」+「人形」	◎ 人形の形の横にねじを回して動かす様子	<からくり> △ ラベル追加 ● 組み合わせ	まずは、「からくり」の表現をどうするかを検討。<機器(歯車)・稼働・工業>の表現はどうか？<からくり> ⇒<機器(歯車)・稼働・工業>と同じ <からくり人形> ⇒<機器(歯車)・からくり>+<人形>
		東北 ● 「人形」を参考に右手「カ」で振り動かす			
		関東 ◎			
		北信越 ア ロボットの手話を「ろ」から「か」+人形			
		東海 ア 指文字「か」で、「人形」			
		近畿 ◎			
		中国 保 からくり人形の動きと同じ			
		四国 ◎ 掌を重ねてゆっくり回す + 人形(指文字「ル」を回す)			
		九州 ● 「ねじ」+「人形」			
42 査収	金銭・物品・書類などを、よく調べて受け取ること。「どうぞ御査収下さい」	北海道 ● 「内」+「調べる」	◎ 左手を前方に置き、右手で「確認」のあと、左手を手前に置く。(確認してから受け取る)	● 組み合わせ	意味に合う表現は「調べる」と「目撃」(見たことを証明するさまの表現)。 ⇒<調べる>+<目撃>
		東北 ○ 「調べる」(相手に向け)+「お願い」			
		関東 ● 「調べる」+「頂く」			
		北信越 ◎ もらう+確認			
		東海 ●			
		近畿 ア 確認してハンコを押す			
		中国 △ 調べる			
		四国 保 指先を合わせた右手を目の下に置き それを左掌に当てる			
		九州 ● 「調べる」+「収める」			
43 化学兵器	狭義には毒ガスをさす。広義には化学反応を直接利用する兵器で、普通、火薬類は除く。毒ガス、発煙剤、発炎発光剤、焼夷(しょうい)剤などが含まれる。狭義の化学兵器は核兵器、生物兵器とともにABC兵器と呼ばれ、非人道視されている。砲弾頭、ミサイル砲弾頭に装着する。航空機や巡航ミサイル、地上発射装置から気化またはエアゾール化して噴射して気流に乗せて送りこむなどの方法で使用する。	北海道 ● 「化学」+「放射」	◎ 化学+右手指文字の「け」を右手の人差し指をあてる	<兵器> ● 組み合わせ	まずは、「兵器」の表現を検討。→水戸黄門の印籠の表現があったよな(武器B) ⇒<軍隊>+<武器A(わ10-23)> ※四国班の「兵器」の意見を参考 <化学>の表現はあるので組み合わせで。 ⇒<化学>+<兵器>( <軍隊>+<武器> ) ※四国班の案を参考
		東北 ○ 「化学」(両手5指を丸め合わせる)+「広がる」			
		関東 ● 「理科・実験」+左手甲に斜めに立てた右手人差指をのせ、前方斜め上へ動かす(地面からミサイル発射)			
		北信越 ◎			
		東海 ● ミサイル+噴射			
		近畿 ● 化学+兵器			
		中国 ×			
		四国 ア 化学 + 兵隊の手話をし、その右手で銃を示す			
		九州 ● 「化学」+「兵」+「薬」			
44 時期尚早 (じきしょうそう)	あることを行うにはまだ早すぎる。また、そのさま。「実行には時期尚早だ」「時期尚早な登用」	北海道 ● 「時」+「まだ」	◎ 早い(早すぎて危ない、不安、心配の意?)	<時期尚早A> △ アレンジとの組み合わせ <時期尚早B> △ アレンジとの組み合わせ <時期尚早C> △ 組み合わせ	意味に合う表現が複数ある。 <時期尚早A> ⇒<早い>+<右手<過ぎる>> ※四国班の案を採用 <時期尚早B> ⇒<待つ>+<右手<まだ>> <時期尚早C> ⇒<待つ>+<あとA>
		東北 ア 「待つ」を参考に、指先をバラバラに動かす			
		関東 ● 開いた右手を胸の前で振る(「まだ」)+「早い」			
		北信越 △			
		東海 保			
		近畿 ● 待つ+早い			
		中国 ● やる+まだ			
		四国 保 早い + 片手で 過ぎる			
		九州 ● 「実行する」+「まだ」			